愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	英語オーラルコミュニケーションⅡ		
担当者(Instructors)	クアム ジェイ	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

毎回一つの文法に焦点を当てて、「聴く・話す」練習をする。知らない単語や表現の意味を調べたり、繰り返し口に出して言ってみたりすることで、英語のリスニングとスピーキングの力をつける。積極的に練習することや授業に参加することが重要である。意味を調べたり、単語の使い方を知るために辞書は必須です。（電子辞書可、スマートフォン不可） 目標：簡単な英語を使って自然なコミュニケーションを行うことができる。英語のみで会話を楽しむ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	対面授業となります。テキスト内のテーマに合わせて文法や単語、文章、リスニング、会話の練習をしていきます。ペアワークやグループワークなどで、よくあるシチュエーションでのロールプレイを通して実際に使える英語を学びます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	Introduction of the teacher and students, method of teaching and the text book	□
第2回	7A: Comparing countries of the world 比較表現（比較級/最上級）	7A: It’s bigger than China. 比較に関連する表現及び語彙（形容詞）。	□
第3回	7B: Apartments 住居に関する語彙	7B: I really like my new apartment. 住居に関する語彙。疑問詞「What ～?/ Where ～?/ Which ～?」を用いた部屋の詳細の尋ね方と答え方。	□
第4回	8A: Choosing a partner 程度を表す副詞 too/ enough	8A: She’s too young for me. 人を説明する語彙。程度を表す副詞「too」と「enough」。	□
第5回	8B: Shopping for clothes 洋服に関する語彙	8B: This dress is not long enough. 洋服に関する語彙と会話表現。程度を表す副詞「too」と「enough」。	□
第6回	9A: Personal problem アドバイスや意見を伝える表現	9A: You should say you’re sorry. 相手に諸事情を伝える語彙。相談や助言で用いる会話表現「You should ～」、「Why don’t you ～?」、「Perhaps you’d better ～」。	□
第7回	9B: Health problem 健康問題と対処法に関連する語彙	9B: I’m stressed. 健康に関する語彙。相手に健康状態を尋ねる方法や助言を与える会話表現。	□
第8回	Review 3	Review 3: 復習	□
第9回	10A: Cultural rules and customs やるべきこと/やってはいけないことを伝える表現	10A: You can’t smoke in the street. 文化や習慣に関する語彙。やるべきこと/やってはいけないことを相手に伝える会話表現「can」「shouldn’t」「have to」。	□
第10回	10B: Getting ready for a vacation 旅行準備や空港で使用する語彙及び表現	10B: I have to get a visa. 旅行準備に使う語彙。やるべきことの確認に用いる「Do I have to ～?」。	□
第11回	11A: Personal experiences 経験を尋ねる方法（現在完了形）	11A: Have you ever tried Thai food? 現在完了形を用いた経験の尋ね方と答え方「Have you ever been ～?」「Yes, I have./ No, I haven’t.」。	□
第12回	11B: Computers コンピュータに関連する語彙	11B: My computer’s crashed. コンピュータ及び周辺機器に関する語彙。現在完了形を用いて様々な経験を尋ねる方法と答え方。	□
第13回	12A: Getting ready for a trip or event 完了を尋ねる方法（現在完了形）	12A: Have you brought your tickets yet? やるべき作業が完了したかどうかを確認する方法「Have you ～ yet?」（現在完了形）。	□

第14回	12B: Achievements and disappointments 人の感情やライフイベントに関する語彙	12B: He’s passed his driving test. 人の感情に関する語彙（形容詞）。やるべき作業の完了や近況を相手に尋ねる方法「Have you ～?」（現在完了形）。	□
第15回	Review 4	Review 4: 復習	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・授業前には，教科書の該当箇所を読んでくること。（２０分）　・また新しい単語は、辞書を使って意味を調べておくこと。（２０分）　・授業後には，授業で習った内容を復習し、新しい単語を覚えること。（２０分）　・また、授業で使った表現を、授業外でもできるだけ使うこと。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

ユニット毎に復習テストがあります。授業内で行いますが、必ず終わった後見直し、わからないところは質問して下さい。質問は他の生徒へのヒントにもなるので授業中に聞いてみてください。またTEAMSでのメッセージでも対応します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	**◆ 2019全学共通DP1**	テーマ毎の文法を理解し、使うことができる。 リスニング音声やペアワークでの相手の言葉を聴くことができる。 正しい発音で話すことができる。
思考力・判断力・表現力	**◇ 2019全学共通DP2**	テーマ毎に身につけた文法を使って、表現する。（表現力） 相手に伝わる英語を話す。相手の英語を理解する。（コミュニケーション力）

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

ユニット毎の復習テスト（Unit by Unit Test）6回(4pt x 6)
第8回と第15回 Review　でのBrainteaser　2回（8pt x 2）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	Angela Buckingham, Miles Craven and David Williamson『Get Real 2』MCMILLAN	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		